

**令和2年度は
第8ブロックを
点検！！**

防災まちあるきを実施しました！

令和2年6月14日(日)に第8ブロック(東今小路町、西今小路町、北今小路町、東今小路北組)を対象として、防災まちあるきを実施しました。あいにくの天気でしたが、19名の方にご参加いただき、避難経路やまちの安全性について、見直しました。

翔鷲学区は、京都らしい風情のある古い街並みが魅力ですが、一方で防災上の不安もあります。災害時に無事に避難ができるよう、まちの安全性向上のため、「道に面する古くて高さのあるブロック塀」や「行き止まりの通路(袋路)」、「古い木造住宅のまちなみ」について、事前に対策出来ることのないかを確認しました。

※翔鷲学区では
まちの安全性向上のため、毎年ブ
ロックを変えて、
まちあるきを実
施しています。

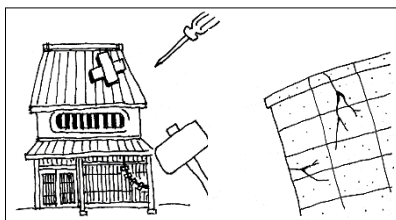


もしも！

に備えましょう！

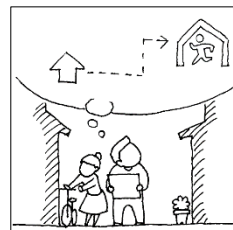
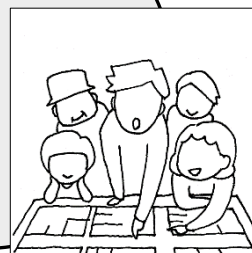
日頃から災害に備えて、不安なところ、改善できそうなところに
気づいたら、できることから少しずつ改善しましょう。

自宅から地域の集
場所への避難経路が
安全に避難できるか
確認しま
しょう



自宅の耐震性や
道に面するブロック塀
の安全性を
確認しましょう

ご近所で防災に関す
ることを
日頃から
話題に
しましょう



道幅の狭い
道や避難扉
の前にバイクや植木鉢
などを置かないよう、
日頃からきちんと
整理しましょう

令和2年度 防災まちあるき (6/14 実施) まとめ

第8ブロック

東今小路町、西今小路町、北今小路町、東今小路北組

フェンスを越えれば
駐車場へ抜けられる。



普段から駐車場に抜けられるようになって
いる



路地側から扉が開く。
非常時の通行を想定し、普段から整理
整頓を心掛ける。



主なまちあるきの感想

- ・北今小路町は主要道の幅が4mなく、消防車が入れない路地が2つあり、いざ火災になった時が不安。
- ・高齢者も多く、助け合って避難しなければならない。
- ・袋路の避難扉の重要性、とても大事だと思いました。
- ・路地は多くなかったが、生活道は狭く、災害時の避難は難しいと思われる。
- ・防災意識の向上が図れたことは有意義だった。

道の凸凹やガス管と水道管
の老朽化が気になる。
→水道局及びガス会社と連
携し、路地内所有者の同意を
得て、改善できるよう
働きかけ中。



道幅が狭く避難時に不安
沿道建物の耐震化が重要。



建て替え時にセットバックされ、
道の拡幅が進んでいる。
※道路中心線から2m後退済。

東側に空地がある。
鎖で封鎖はされているが開放的。

記号の意味

【避難所や地域の集合場所など】

- 避難所
- 地域の集合場所

【緊急時のための設備など】

- 消火栓
- 防火水槽
- AED
- 公衆電話
- 公衆トイレ
- 災害時のみ通行可能な箇所

【道路の状況】

- 幅員 4.0m以上の道路
- 幅員 1.8 ~ 4.0mの道路
- 幅員 1.8m未満の道
- 袋路 (突き当たりが建物)
- 袋路 (突き当たりが塀)
- 袋路 (突き当たりがドア)
- トンネル路地

【公園や公共施設など】

- 公園
- 公共施設
- 寺社
- 堅牢建築物
- 空き地・平面駐車場
- ブロック界
- 町界

まちあるきコース